



7月 ほけんだより

令和7年6月30日



暑い季節がやってきました。梅雨明け直後は暑い日が続くので、熱中症に注意をしなくてはなりません。保育園では子ども達の健康と安全を守る為、暑さ指数（WBGT）が25以上の場合は室内では冷房を使用し室内管理を行い、26以上になった場合は外遊びを控え、室内で過ごします。子ども達が安全・快適に過ごせるよう、引き続き体調管理と環境整備に努めていきたいと思ひます。

夏に多い感染症

ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ぼう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1～4日くらいで解熱します。



プール熱

プールで感染することもあり、高熱が3～5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。食事は消化のよい物を食べましょう。



手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ぼうがで、発熱することもあります。食事は喉越しのよい物を食べましょう。



流行性角結膜炎

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出ます。周りの人への感染源となるので、タオルは共有しないようにしましょう。



虫除け対策

園ではベープなどを置き、虫除け対策を行なっておりますが、個別に虫除け剤や塗り薬の塗布はいたしませんので、登園前に虫除け剤などを塗っていただくとうい思ひます。なお、衣服に貼るタイプのものは、誤飲防止のため禁止とさせていただきます。

母子手帳確認のご協力 ありがとうございました

入園・進級時に提出いただいた予防接種情報などに不備がある方には、再度確認をさせて頂くことがありますので、ご協力をお願いいたします。感染予防のため、予防接種などは定められた期間に、きちんと受けるようにしましょう。